

**令和 6 年度
第 1 回
関市総合計画審議会
会 議 録**

(令和 7 年 2 月 1 7 日)

第1回関市総合計画審議会

1 日 時

令和7年2月17日（月曜日） 午前10時00分～午後0時04分

2 場 所

関市役所 6階 大会議室

3 出席者

委員（18名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	西 部 美 晴	関市教育委員会
〃	丹 羽 英 治	関市農業委員会
2号委員	長 尾 富美雄	関市老人クラブ連合会
	小見山 知 香	関市 PTA 連合会
〃	○遠 藤 俊 三	関市自治会連合会
〃	大 野 武 志	岐阜県関刃物産業連合会
	各 務 剛 児	関商工会議所
〃	北 瀬 美 幸	関市社会福祉協議会
〃	早 川 貞 子	関市地域女性の会連合会
〃	西 村 健 太	関青年会議所
	長谷川 尚 彦	関市観光協会
	小野木 卓	関市スポーツ協会
	塚 原 千 恵	関市文化協会
	大 岩 寿喜子	せき市保育会
3号委員	◎飯 尾 良 英	中部学院大学
〃	渡 邊 恒 夫	岐阜医療科学大学
4号委員	村 瀬 光 昭	関信用金庫
	野 田 哲 貴	公募

◎：会長、○副会長

事務局（関市 5名）

市長 山下 清司

市長公室長 相宮 定（企画広報課）伊藤 敦子 長屋 高浩 中村 拓哉

4 欠席者

委員（1名）

（敬称略）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	森 武 司	関市消防団

5 次 第

1 開会

2 委員委嘱

3 あいさつ

4 会長・副会長選出

5 議題

（1）令和6年度せきのまちづくり通信簿（市民アンケート結果）等について

（2）第5次総合計画 後期基本計画の主な事業の進捗状況について

（3）令和7年度 予算(案)について

6 閉会

(午前 10 時 00 分 開会)

○事務局

関市総合計画審議会を開催いたします。

関市総合計画審議会委員の委嘱状を、市長から交付させていただきます。

(市長から一人ずつ委嘱状交付)

続きまして、市長よりご挨拶申し上げます。

○市長

総合計画は市の最上位計画です。

総合計画は第 5 次総合計画・後期基本計画は令和 5 年度からスタートしています。一番の課題は人口対策に尽きます。関市は 2 月 7 日で合併 20 周年を迎え、20 年間で人口は 1 万人減少し、8 万 4,000 人ほどになりました。また、将来推計では 2050 年にはさらに 3 割減少して 6 万人弱に、2070 年には半分の 4 万 1,000 人ほどになるという推計すらあります。これを食い止めるために、いろんな手を尽くさなければなりません。これだけやれば良くなるというわけではなく、一番の課題は、子どもさんが少ないということになります。合併時は 1 年間に 800 人ほどであった出生数が、だんだん減って 400 人ほどしか生まれてきていない状況になっており、減少が加速していくということになります。そうすると若い人がまちに暮らして、とりわけ女性に暮らしていただくことが、一番大事なことでありますので、行政としては大事な施策だと捉えています。現在策定中のこどもまんなか計画でも、しっかりとこどもたちを支援することを考えています。人口減少は、例えば雇用が厳しいことなど、いろんな業種でも感じていらっしゃると思います。そういったところに影響し、まちそのものに活力がなくなっていくので、なんとか食い止め、この総合計画に基づいて魅力あるまちづくりを長期的に捉えていきたいと思います。令和 5 年度からスタートした移住定住支援策は、市外から関市への転入者に限らず、関市でアパートに住んでいた人が関市内で家を取得した場合も対象にしておりますし、大学等卒業後に関市で就職していただく人に対して奨学金返済を支援させていただき制度を創設し、関市への U ターンを積極的に進めていくことを考えています。

令和 7 年度予算案は、473 億 6,000 万円ほどの一般会計予算で、前年度比で 35 億円ほど増額しております。人口減少対策のみならず、安心をみなさんにしっかり担保するというので、埼玉県八潮市ではございませんが、インフラ整備をしっかりやらなければならないということで、上下水道についてももしっかり取り組むため予算を過去最大規模にしています。行政の施策はハードから子育て、教育のソフトも含めて幅広いため、すべてが皆さんの思い通りにならない部分も多いですが、とにかくまちが活力を失わないために、総合計画を進めたいと考えているところでございます。

まちづくり通信簿の結果も議題にあがっているようでございますので、これも踏まえてご審議を賜り、皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

市長は公務のため、退席させていただきます。

本日の欠席委員は、森委員でございます。

これより会長と副会長の選出をお願いしたいと思います。

関市総合計画審議会設置条例第5条第1項では、審議会に会長、副会長を各1名置くとされており、第2項では委員の互選によって決定するとなっております。会長、副会長の選任について、ご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。

(発言者なし)

○事務局

皆様からのご意見がないようでございますので、事務局案をご提案させていただいてよろしいでしょうか。

(「異議ありません。」と呼ぶ者あり)

○事務局

それでは事務局案をご提案いたします。会長は中部学院大学 人間福祉学部長の飯尾良英様に、副会長は自治会連合会会長の遠藤俊三様をお願いしたいと思います。

ご異議がなければ、拍手でご承認いただきたいと思います。

(賛成者の拍手)

○事務局

皆様からご承認いただきましたので、会長を飯尾委員、副会長を遠藤委員をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いします。会長及び副会長席にご移動をお願いいたします。

(会長・副会長席に移動)

それでは、飯尾会長と遠藤副会長からごあいさつをいただきたいと思います。

初めに飯尾会長、お願いいたします。

○会長

ご推薦をいただきまして、誠にありがとうございます。中部学院大学で福祉の教員をしております。専門領域は地域福祉論で、市政全般にわたる課題を議論する点では私の専門を超えており、十分役割を果たせるかどうか心許ないところでございますが、皆様のご意見を活発に出していただけるような環境をつくっていくことが、私の役割と考えております。幸い、隣に地元にとっても強い副会長さんがおみえですので、サポートしていただきながら進めてまいりたいと思います。

第5次総合計画後期基本計画が、令和5年度からスタートしております。私の役割は、後期基本計画の進捗管理、さらには令和8年から新たな計画策定に向かうこととなりますので、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうか

よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、遠藤副会長、お願いします。

○副会長

皆様から多くの拍手をいただきまして、この席に着かせていただきました。広範囲にわたる内容でございますので、たくさんのご意見を出していただきますよう、よろしくお願いいたします。

○事務局

これよりの審議会の進行を、飯尾会長にお願いしたいと思います。

○会長

それではこれより議事に入ります。次第に沿って進めさせていただきます。

まず、議題1「令和6年度せきのまちづくり通信簿等」について、事務局からの説明をお願いします。

(事務局説明)

○会長

ただいま事務局から、説明がありました。

ご意見や質問がある委員は、挙手をお願いします。

では私から。通信簿という市民の関心が高まるユニークなネームをつけていただいています。資料1の点数について、例えば1番の地域福祉は、令和6年が91.6とありますが、これは100点満点の91.6でしょうか。

○事務局

100%のうちの91.6%の方が不満ではないということになります。

○会長

そうしますと、全般的に高得点で、とてもすごいと思いました。平成29年度から令和6年度までの増減や、令和5年度と6年度の増減を特色のあるところを色分けしていただいますが、例えば33番の公共交通の68.7%、これは全体の中で一番低いですね。このあたりは事務局として説明していただけることはありますか。

○事務局

満足にたくさんの方が振っているということではなくて、平成29年度のアンケートでは、不満に思ってみえる方が大変多くございました。特に10代で、不満の人数が普

通に振られてきた状況です。令和2年に、大きくバスのダイヤの見直しをしましたところも、大きな不満がある程度解消される要因にはなったという形になっております。

○会長

平成29年と比べれば7.1の上昇になっていますので、そのあたりのことも考えていければいいなと思いました。他にご質問ご意見あれば。

○委員

ランダムに3,000人を抽出ということですが、関市は旧町村と市街地とありますが、そのあたりの比率はどのようになっていますか。

○事務局

手元ですぐに割合がでなくて申し訳ありませんが、人口の比重で実施していますので、市街地と比べると、旧町村は割合としては少ない状況です。

○会長

他にご意見ございますか。

○委員

資料1の5ページ目の20代から30代が住み続けるために重要なことは何ですかの部分で、子育て支援や住宅支援がかなり割合を占めているが、結婚支援が圧倒的に低いのは、関市の何かの施策で満足が得られている状況ですか。

○事務局

行政に出会いの支援をしてもらおうと思っている方たちがそもそも少ないのかもしれないということもあります。また、マッチングアプリでの出会いがかなりの数を占めてきているという報道を目にすることもありまして、行政にそこを期待している人が少ないのかもしれないということを思っています。

○会長

他に。

○委員

2点教えてください。資料1の住環境が令和5年と6年の差がマイナス5.2ポイントとなっています。そもそも令和5年は令和4年から大きく上昇していますが、これらの原因をつかんでおられるのか。これらを踏まえたうえで、さきほどの能登地震を踏まえた耐震化改修が増えたとか、そういったことを分析されてみえるのか。

また、全体の回収率が何パーセントくらいあるのか、ということも併せて。

2点目、資料2の人口推計で、目指すべき人口の推計に用いた条件ということで、あくまでも目指すべきなので、希望が含まれていると思いますが、合計特殊出生率が1.5人まで上昇するとして推計してありますが、国全体でみると2024年は出生数も70万人を割っていますし、そこからみると1.15という合計特殊出生率が出ていますので、そうしたことの影響は加味されているのか教えてください。

○事務局

住環境の分析につきましては、昨年度86.1%で、大きく上がっています。昨年は土地区画整理事業が特に富岡地区で土地が売れていた状況で、満足度が上がったと分析をしていました。また、空き家の利活用支援が昨年度からはじまり、一定数影響があったのかと分析しています。逆に今年は、状況は同じではありますが、昨年1月の能登半島地震により、市内で増えている空き家について不安が不満につながったのではないかと分析になっています。

アンケートは、およそ40%、1200件ほど回収できています。

2点目につきましては、資料の2の1ページに記載しておりますが、2013年から2017年までの1.46を基に、関市の子育て施策を打っていくことで1.5まで上がっていけばという希望であり、1.15になってきていることについては加味されていないデータになっています。

○委員

人口推移で、一番大学生が関市から抜けますが、戻ってくる子の数値は把握はされていますか。また、関市外で活躍して20代後半、30代前半でお嫁さんを連れて戻ってくる。また、第一線を退いて、ご家族のもとに戻ってらっしゃる人口はあるのでしょうか。

○事務局

関市から出て行った方が、関市に戻ってきたという数字はなくて、あくまでも推計の中で、判断するしかない状況です。たとえば4ページで、20代は大きく減っている中で、30代はあまり減少していないので、戻ってきているのかなという推測になっています。

○委員

関市に雇用があれば戻りやすいですし、一線を退いたシニアの方がご家族のもとへ戻ってくるまちになればと思ひまして、ご意見させていただきました。

○会長

他にご意見ありますか。

○委員

アンケートの公共交通は、思っているより満足度が高いという印象です。公共交通に

依存する方は、高齢の方と免許をもたない若年層。特に 20 代、30 代は人口維持のために重要な年齢層だと感じましたが、免許をもっていない若い世代が、どの程度公共交通に満足しているのか、もしデータがあれば教えていただきたいです。

○事務局

今年度の公共交通に対するアンケートで、10 代の 25%ほどが満足している状況です。ただ、40%ほどが不満という回答がありまして、通学で使う方の不満は大きいのかなという状況です。逆に、70 歳以上の方の数値は、不満の合計が 25%ほどになっている一方で、20%が満足になっておりまして、高齢者よりは若い子のほうが不満という方が多いことになります。

○委員

息子が市内の高校にお世話になっておりまして、公共交通機関に満足しているという声は友人含めて聞いていなかったもので、お聞きしました。

○会長

他にご意見ありますか。

○委員

一番懸念しているのは、高齢者の移動の問題です。アンケート回収率 40%ですが、この問題に関しては、旧武儀郡は人口アンケートの対象人数を増やしていただかないと。アンケートの数字をみて、そんなに不満に思ってみえないと思ったんです。今、関市の老人クラブの会員は、2090 人程度で、いろんなことを計画しても、足がないから参加しない、参加しないからこもる。こもると認知症、というような負の継続に結び付いているので、アンケートをとっていただくときは、ちょっと加味していただくとよろしかったのではと思いました。

○事務局

母数は少ないものの、各地域別の数値も拾っておりまして、参考までにですが、不満の数でいうと、洞戸地域は 36%、板取は 16%、武芸川で 28.6%、武儀で 32.5%、上之保は 29.2%ということで、地域別に数字はみえるように工夫はしております。地域の状況等も継続してみています。

○会長

他に。

○委員

人口が 85,000 人いるなかで、1,200 人のアンケートで関市全体の施策の良し悪しを判

断してよいのかということがわからなくて教えていただきたい。

アンケートの年齢別の回答がどれくらいあったとか、もしわかれば教えていただきたいと思います。

○事務局

関市の規模のアンケートとしては、1,000 の回答があれば、ある程度確からしいというようなデータがとれると伺っております。なお、このアンケートのみで良し悪しを決めるわけではないですが、ある程度の信ぴょう性があるものと扱っております。

各年代別の回答率につきましては、10 代が 2.2%、20 代が 4.8%、30 代で 12.3%、40 代で 17.1%、50 代で 13.9%、60 代で 19.7%、70 歳以上で 28.3%、不明・無回答が 1.6%ございますので、これを足すと 100%になります。

○会長

ありがとうございます。まだまだご意見あるかと思いますが、先に進めたいと思います。また後ほどお時間としてご意見いただきたいと思います。アンケートの方法なり私たちに見せていただく場合の集計表の出し方、例えば地域別や年齢別、性別、細かいデータもできれば出していただけると、委員の皆様方も納得されるかと思いますので、工夫をお願いします。

続きまして、議題 2、第 5 次総合計画 後期基本計画の主な事業の進捗状況について、事務局から説明を求めます。

(事務局説明)

○会長

ただいま事務局から、説明がありました。

ご意見や質問がある委員は、挙手をお願いします。

○委員

かなり魅力的な事業が沢山あると思いました。こういうのを市外の方に伝えれば、関市に移住しようという気持ちにもなる。市外の人への伝え方として、企業版ふるさと納税という方法があるかと思いますが、企業版ふるさと納税の対象事業にこれらを入れるお考えはあるでしょうか。

○事務局

本日ご紹介した事業もいくつか企業版ふるさと納税の募集事業として掲載し、今年度 3,000 万円ほどご寄附いただいています。制度上、国の補助金が充当されている事業や継続事業は対象にできないなど制約がありますが、ご提案いただきましたように関市しか実施していないような事業を寄附募集事業として掲載し、PR したいと思います。

○会長

他にご意見ありますか。

○委員

関商工生徒によるシニア向けスマホ教室は、実際に関商工の先生からも、生徒たちが楽しく学べたと聞いています。高齢者の方も私たちが教えるより、きっと孫世代の若い子たちに教えてもらって、そこで一緒に過ごすということが大事なことだと思います。いろんな方法があっっているいろんなメニューもこれから考えていただけたらと思うが、ぜひ継続的にやっていただきたいと思います。

屋内遊び場施設整備の検討について、子どもが遊ぶ場所は、市内には児童センターが何か所かありまして、そこは未満児の利用が多かったりします。児童センターを利用できる人は18歳までの子となっていますが、限られた場所であり現実それが難しく、小さいお子さんだけになっています。今回、屋内遊び場整備を考えられるときに、住み分けがいろいろ必要になってくるかと思います。また、児童センターのことも考えながら、どういった方法で屋内で遊べるようになるか、十分に検討をいただけたらありがたいです。

○事務局

関商工のスマホ教室は、スマホの操作を学べることに加え、若い人と世間話ができることがとても楽しい時間になったようで、そこも高い満足度につながったようです。関商工のビジネス科の生徒は、コミュニケーションも学んでみえるかもしれませんが、とても上手に高齢者の方と会話されるそうです。今後も続けたいと思っています。

こどもの遊び場施設整備は、貴重なご意見として担当課に伝えたいと思います。

○会長

他にご発言ありますか。

○委員

今日、議題1でアンケートの結果を教えてください、市民のいろんな意見が大事にされていることがわかりましたし、重点施策も多岐にわたって幅広くということも十分理解ができました。その中で、スポーツ施策の満足度が94%で、市民のみなさんが不満を抱いていないということがわかってほっとしています。実際は、多くの利用者があるヨガ教室などは、スポーツ協会の事業というよりは自治会組織がそれぞれの公民館活動としてやっている。そんな実績が満足度の結果につながっていて、スポーツ協会としては満足してはいけな感じました。関市で実施している実年野球などは、かつての実績を引き継ぐ形で、最近、特別に工夫してやっているということではないので、このあたりもこれからの野球人口の減少も考えると、いろんな意味で考えていかなければならないと気付かせていただいた気がします。

ひとつお願いしたいことは、先ほどは多くの項目の満足度結果をお聞きしたことと、重点課題に対する取組状況が、どうつながっているのかという部分が、推察してわかる部分とわからない部分があるので、もう少し関連づけられていると、説明をお聞きして理解、納得につながっていくんじゃないかと思います。提案の仕方の中で助けていただけるとありがたいです。

○事務局

ご意見ありがとうございます。総合計画書には関市が取り組むべき全部の施策、48項目を掲載しています。また、総合計画書の序論において、「重点課題」として特に取り組むべき項目を6項目と、社会潮流を踏まえて「注力すべき視点」を3項目設定しています。そこで、議題2ではこれらの特別に設定したテーマについて、市で新規で取り組んでいることを抜粋してご紹介させていただきました。

一方で、計画書全体では48項目の施策ごとの満足度調査結果が、各施策の成果指標に設定されております。毎年、この成果指標により施策の進捗管理をしておりますので、議題1でご報告させていただきましたが、関連がわかりにくかった点はお詫びいたします。

○会長

また工夫していただければと思います。他に。

○委員

子どもの屋内遊び場施設整備についてです。公立保育園の適正化は、来年度からはじまります。それに伴って統廃合がされる。学校もそうです。そうなった場合に、その廃止した場所をうまく活用するというご検討いただけるのではないかとということが1点。

2点目は、保育園は土曜日や日曜日、特に日曜日は閉まっている。そうすると基準を満たした遊具、設備が揃っていない。保育園は日曜日に利用できる。そして調乳室もあります。室内も園庭も含めて。あるものを本当に最大限に利用していく。新しく整備すると、どうしてもテーマパークになってしまいます。その地域に有名なものを呼んでくるということではなくて、その地域の資源を最大限に活用しては。保育園等には子育てのプロ、保育士もいますし、そういうところで繋げていただければ、よりよいものになるのではないかと意見をさせていただきました。

○事務局

既存の施設を活用するという視点も重要ですので、ご意見を伝えさせていただきます。

○会長

まだご意見あるかと思いますが、とりあえず先に進み、そのあと全体的にご意見いた

だきたいと思います。

続きまして、議題（３）「令和７年度 予算(案)」について、事務局から説明を求めます。

（事務局説明）

ただいま事務局から、説明がありました。

ご意見や質問がある委員は、挙手をお願いします。

来年度の事業だけではなく、議題１及び２についてでも構いませんので、ご自由にご意見いただければと思います。

○会長

最後の３１ページのライフイベントの一覧表は毎年出しておられるのですか。

○事務局

このように一覧にしましたのは２年前からです。その都度リニューアルしながら皆様にお示ししており、転入者の方にもこの一覧をお渡しして周知をしております。

○会長

わかりやすい、とてもよい表だと思いました。

いろんなこと市では施策として実施されていますから、市民の方にいかに知っていただくか、ということが大切だと思います。

他、ご意見いかがでしょうか。

○委員

１５頁の体育館の空調ですが、当然のごとく災害時の避難所ということで指定されていると思いますが、例えば統廃合のこともあります。南ヶ丘小学校は、５年後に倉知小学校と統合ということです。今後、統廃合される施設は空調は整備しないということで理解してよろしいでしょうか。

○事務局

統廃合が予定されている学校につきましては、現時点で計画しておりません。

○委員

学校体育館に空調施設を設置されることは大変良いことだと思います。大きな災害が発生したときに、指定避難所の小中学校グラウンドは、人や車でいっぱいになる。昼間はよいが、夜は教室の電気を付けるか、車のライトをつけて明るくするしか方法がない。ぜひグラウンド周囲に災害時に必要な照明を設置して備えていただくことが大事なこ

とではないかと思います。

それから公有財産マネジメント施策に公共施設等の有効活用とあるが、地域の公民センターの廃止か継続かについて、10年以上前から市から知らせているとのことであるが、これは総合計画に載っていないのか。地域の子どもや高齢者の居場所づくりという観点でも非常に重要な施設で、一時避難所にもなる。公共施設再配置計画に記載されていると思うが、公民センターの当初の目的、役割を果たしたのか、という観点から見直しが進められていない。うまく運営しているセンターは、5年後、10年後であっても市の予算で解体をしてもらえるようになればと思っています。

○事務局

公民センターにつきましては、市のふれあいセンター整備の計画を進めた段階で、各地域に譲渡していくという、15年くらい前から決まっているもので、なかなか話がうまく進んでいなくて、今回皆さんにご意向を確認したということになっています。その中で今回、解体補助金を新たに創設しました。

根底にありますのは、地域の公民センターは、その地域の特定の方々が使う施設ということですので、市内にも各自治会とか地域で自主的にすべて運営されているところがございますので、そういった不公平感も是正するということも含めまして、15年ほど前から進めている次第です。自治会が弱体化、減少していく中で、集会場の維持管理も難しくなっているところもございまして、流れに逆行するのではないかという意見も多々いただいています。意見を踏まえながら今後、必要な部分は見直したいと考えております。

○委員

市には市内15のふれあいセンターと生涯学習センターを設置して、公民センターはできるだけ整理していきたいという考えと思いますが、地域によってはふれあいセンターからの距離や地形的なこともあって、公民センターが非常に大事だという地域もある。ふれあいセンターの補助施設として、残していくべきところもあると考えられる。また考えていただけるとありがたいと思います。

○会長

他に。

○委員

関鍛冶伝承館の刀剣乱舞コラボが非常に良かった。刃物会館への集客にもつながっておりまして、そういった企画は引き続きやっていただきたいと思います。

またハード面の予算が出ていましたが、ソフト面もより充実していただきたいと思います。昨年アメリカから来た友達を案内したが、英語の表記が非常に簡単すぎるというか、日本語と英語の表記が一致していないことが展示物の中で多くみられました。

彼らはわざわざ海外から来るので、なぜこの刀剣がすばらしいかなど、マニアックな視点をもってきている。今の表示では何年に誰が作ったくらいしか、英語の標記がない。この刀剣ならではの作風や見どころを事細かに英語で表記してあげると、彼らは非常に喜ぶと思います。刀剣乱舞とのコラボ企画も観たが、英語表記が非常に不足していたので、お願いしたいと思います。また公開鍛錬についても解説が日本語だけで、刀匠が何をやっているか、外国人の方からみると非常にわかりにくい。同時に英語の説明があってもよいのでは。公開鍛錬は4～5割が外国人の方ではないか。同時通訳でなくて、型通りのものでもよいと思いますので、何をしているのかということは教えてあげるといいと思います。あと、公開鍛錬見学は、今1時間前から並ぶのでしょうか。それも海外から来た人にはわからないと思いますので、午前中に本当は見たかったが、見られずに午後まで待ってみえた経緯があったので、それだとせっかく遠くから来てもらっているのに予定がくるってしまう。もうちょっとスムーズに入館できるような方法があるとよいと思います。また、入館料がちょっと今の時勢だと安すぎるのかなということは個人的には思いますので、値上げを検討されてもいいのかなと感じています。

○会長

他にご意見いかがですか。

○委員

高齢化すると足がなく、歩いていくしかない。公共交通機関も主要道路に面したところは便利であるが、関市の中でもいろんな地域がある。そういうことも含めて実態調査、アンケートも出していただきたいということと、まちづくりアンケートは70歳以上が28パーセントでしたが、非常に高齢者がたくさんいるということが事実。もう少し高齢者がスムーズに行き帰りできるような交通を。また、近くの集会場をととても便利に使っていますが、老朽化しています。若者が沢山来てくれてうれしいが、移動が困難な高齢者のことも含めてデザインをしていただければありがたいです。

○会長

まだまだご意見あるかと思いますが、せっかく事務局からお話ありましたので、書面で意見を申し上げるということもできるようでございますので、また後程ご案内していただけたと思います。

わたしたちの役割は、令和5年度からはじまりました後期計画の進捗管理でございますので、積極的にご意見いただければと思います。大変不慣れな司会でしたが、皆様がたにご協力いただきましたことに感謝を申し上げまして、これで私の役割を終えさせていただきます。事務局お願いします。

○事務局

ありがとうございました。

最後に、閉会のご挨拶を遠藤副会長からいただきたいと思います。

○副会長

長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございます。今年度の成人式の人数が 954 名で、令和 5 年の新生児が 412 名で、20 年で 6 割減っている。将来を見据えた関市のまちづくりが必要であると思います。マスタープランの実現と、立地適正化計画を周辺部の理解を得ながら進めていかないと、全部が消滅してしまうということにつながっていくのかと思っております。

本日は活発なご意見をいただきまして、ありがとうございます。事務局には、本日の皆さんからいただいたご意見をぜひ踏まえて、事業を推進していただけたらと思います。

本日はありがとうございました。

○事務局

本日は貴重なご意見を賜り、大変有意義な時間になりましたことを感謝申し上げます。また意見シートもご用意しておりますので、もしご意見いただける場合は事務局にお声がけください。

以上をもちまして、本日の総合計画審議会を終了させていただきます。